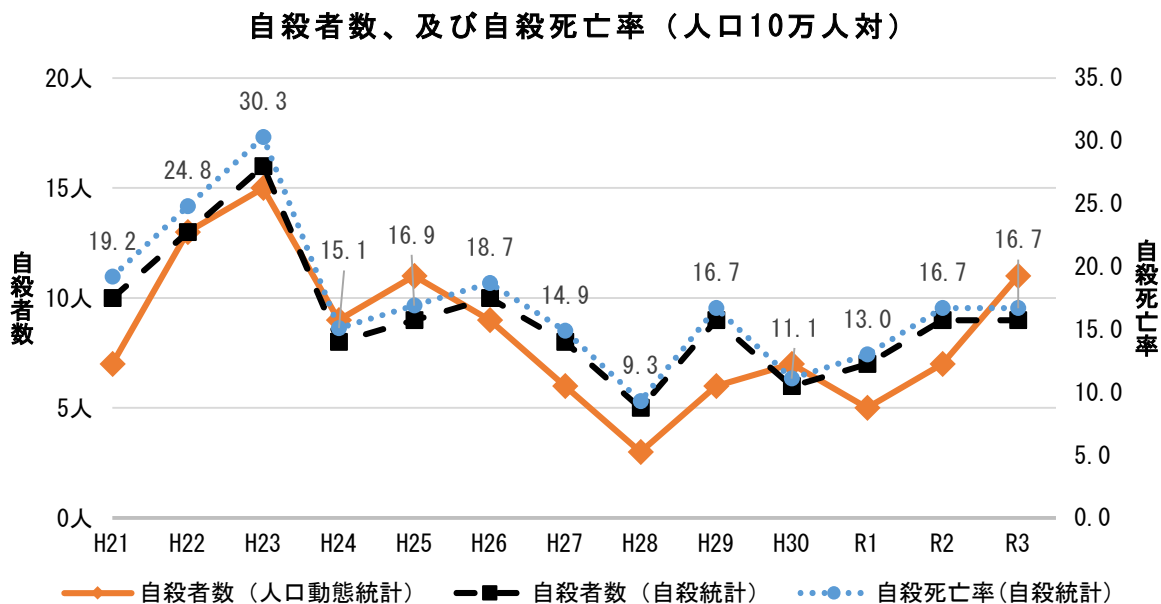


## 第2章 岩出市における自殺の現状

### 1. 岩出市の自殺者数と自殺死亡率の推移

近年の岩出市の自殺者数をみると、平成23年以降は概ね5～10人で推移しており、全体的に減少傾向にあったものの、令和2年、3年の自殺者数は9人と若干下げ止まりしています。

自殺死亡率は平成30年に11.1まで減少しましたが、令和元年から徐々に増加し、令和2年、令和3年には16.7となっています。



資料：自殺総合対策推進センター「地域自殺実態プロファイル」

#### 「自殺統計」と「人口動態統計」との違いについて

自殺の統計として「警察庁の自殺統計原票を集計した結果（自殺統計）」と「厚生労働省の人口動態統計」の2つがあります。「自殺統計」と「人口動態統計」では、以下のとおり調査対象等に違いがあります。

##### ①調査対象による差異

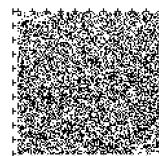
「自殺統計」は、総人口（日本における外国人も含む）を対象としているのに対し、「人口動態統計」は日本における日本人を対象としています。

##### ②調査時点の差異

「自殺統計」は、発見地を基に自殺死体発見時点（正確には認知）で計上しているのに対し、「人口動態統計」は住所地を基に死亡時点で計上しています。

##### ③事務手続き上（訂正報告）の差異

「自殺統計」は、捜査等により、自殺であると判明した時点で、自殺統計原票を作成し、計上しているのに対し、「人口動態統計」は自殺、他殺あるいは事故死のいずれか不明のときは自殺以外で処理しており、死亡診断書等について作成者から自殺の旨訂正報告がない場合は、自殺に計上していません。

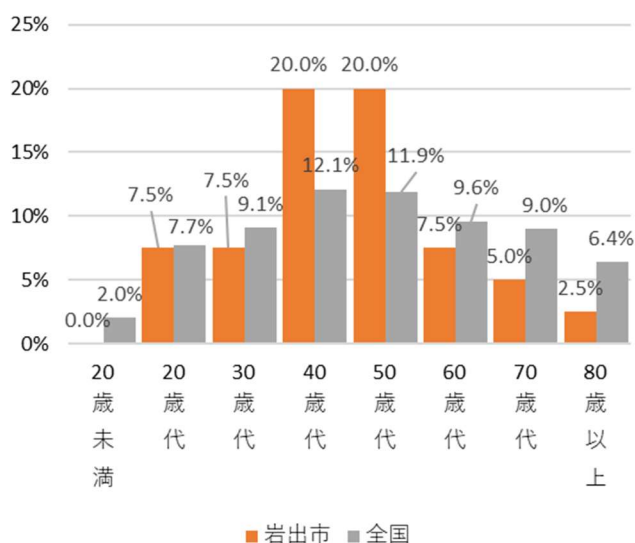


## 2. 性別・年代別自殺者割合（平成 29 年～令和 3 年合計）

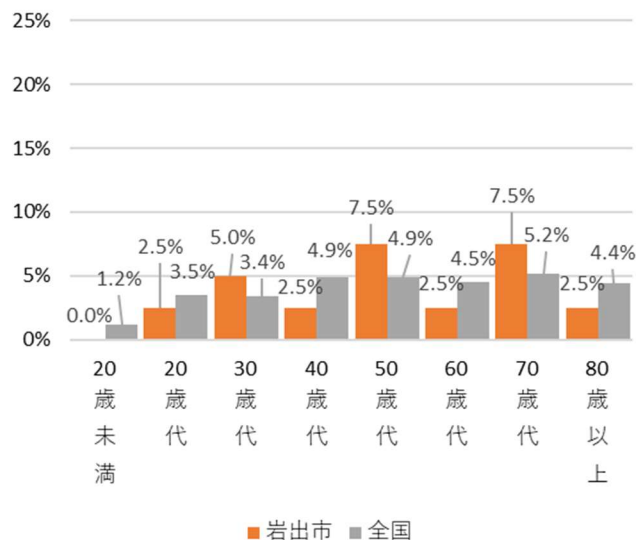
性別、年代別に自殺者割合をみると、男性は 40 歳代、50 歳代、女性は 30 歳代、50 歳代、70 歳代が高くなっており、全国と比較しても、それらの年代で、本市が全国より高くなっています。

性別・年代別自殺割合（H29～R3 年合計）

【男性】

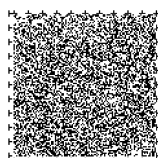


【女性】



注)自殺者割合は、平成 29 年から令和 3 年における全自殺者に占める割合を示す。(以下、同様)

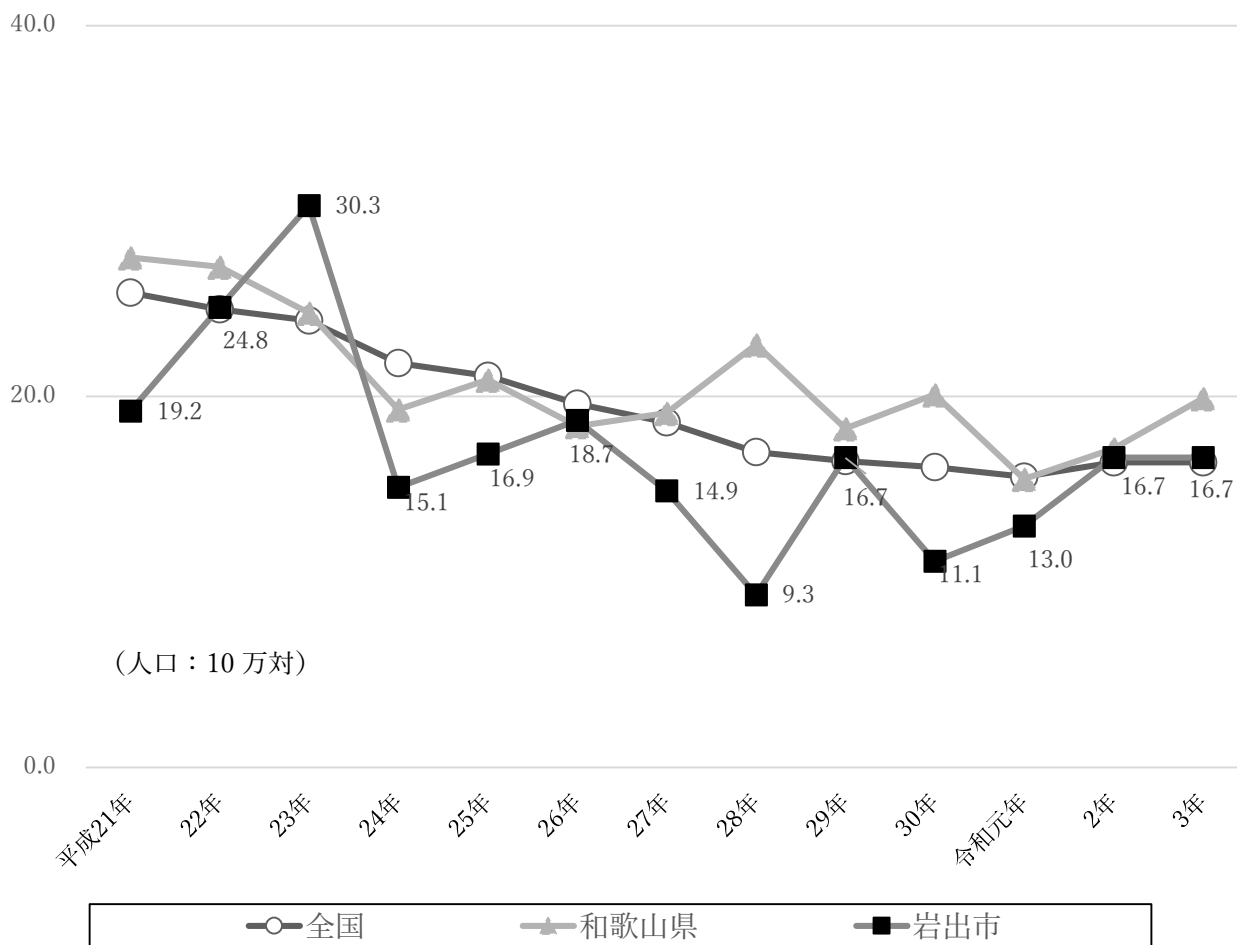
資料)厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」



### 3. 自殺死亡率の推移

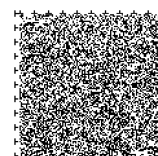
人口 10 万人あたりの自殺死亡者数である自殺死亡率の推移について、岩出市の数値と全国及び県の数値を比較すると、平成 22 年から平成 23 年にかけて大きく増加し、平成 28 年において大きく下回るなど、変動幅は大きいものの、概ね国や県の数値を下回っています。近年は、コロナ禍の令和 2 年と 3 年は国や県の数値と近似しています。

#### ■自殺死亡率の推移



|      | 平成21年 | 22年  | 23年  | 24年  | 25年  | 26年  | 27年  | 28年  | 29年  | 30年  | 令和元年 | 2年   | 3年   |
|------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 全国   | 25.6  | 24.7 | 24.1 | 21.8 | 21.1 | 19.6 | 18.6 | 17.0 | 16.5 | 16.2 | 15.7 | 16.4 | 16.4 |
| 和歌山県 | 27.5  | 27.0 | 24.5 | 19.3 | 20.9 | 18.4 | 19.1 | 22.8 | 18.3 | 20.1 | 15.6 | 17.2 | 19.9 |
| 岩出市  | 19.2  | 24.8 | 30.3 | 15.1 | 16.9 | 18.7 | 14.9 | 9.3  | 16.7 | 11.1 | 13.0 | 16.7 | 16.7 |

資料：自殺総合対策推進センター「地域自殺実態プロファイル」



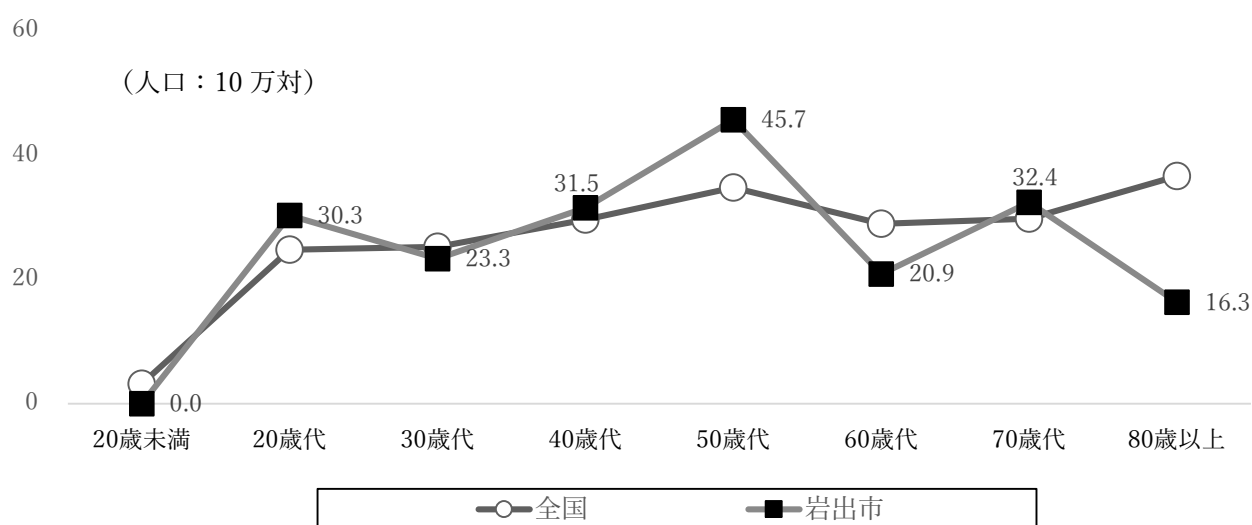
## 4. 性別、年代別自殺死亡率

平成 24 年から令和 3 年における男性の年齢別自殺死亡率（人口 10 万対）をみると、国と近似する数値となっていますが、50 歳代の自殺死亡率は国の数値を上回っています。

平成 24 年から令和 3 年における女性の年齢別自殺死亡率（人口 10 万対）をみると、概ね国よりも高い水準となっており、50 歳代以上の自殺死亡率が国の数値を上回っています。

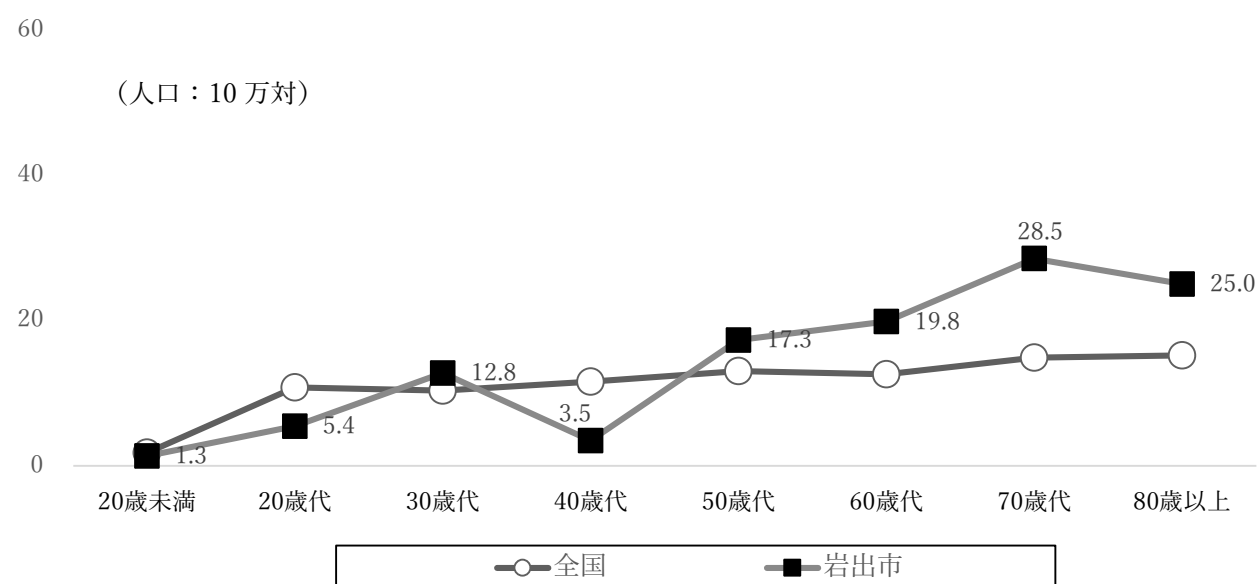
### ■男女別・年代別自殺死亡率（H24～R3 年合計）

#### 【男性】

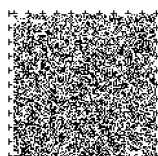


資料：自殺総合対策推進センター「地域自殺実態プロファイル」

#### 【女性】



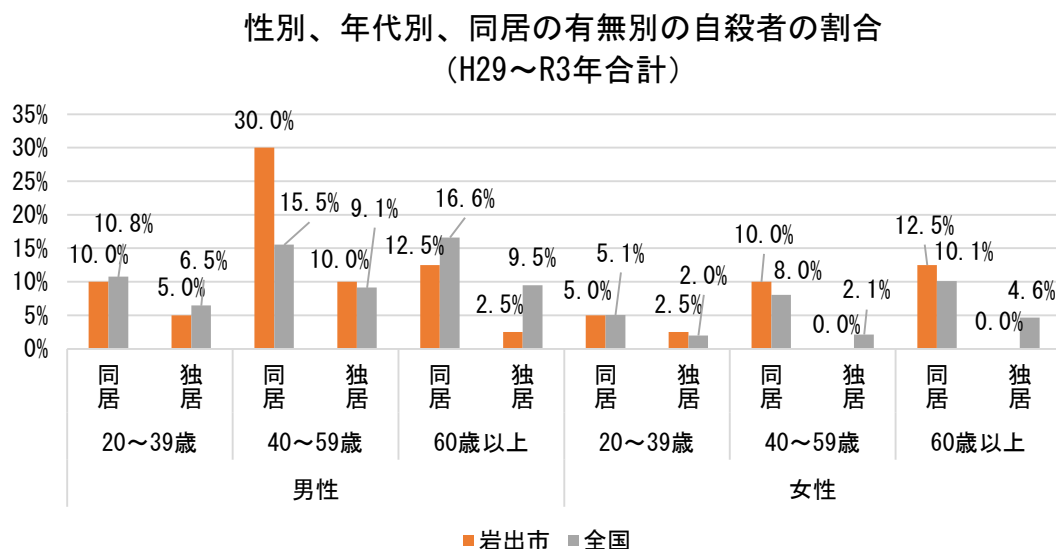
資料：自殺総合対策推進センター「地域自殺実態プロファイル」



## 5. 性別、年代別、同居の有無別の自殺者の割合

性別、年代別、同居の有無別の自殺者の割合をみると、男性は40～59歳の同居、女性は60歳以上の同居が高くなっています。

全国と比較すると、男性の40～59歳の同居、独居、女性の20～39歳の独居、40～59歳の同居、60歳以上の同居で、本市が全国より高くなっています。

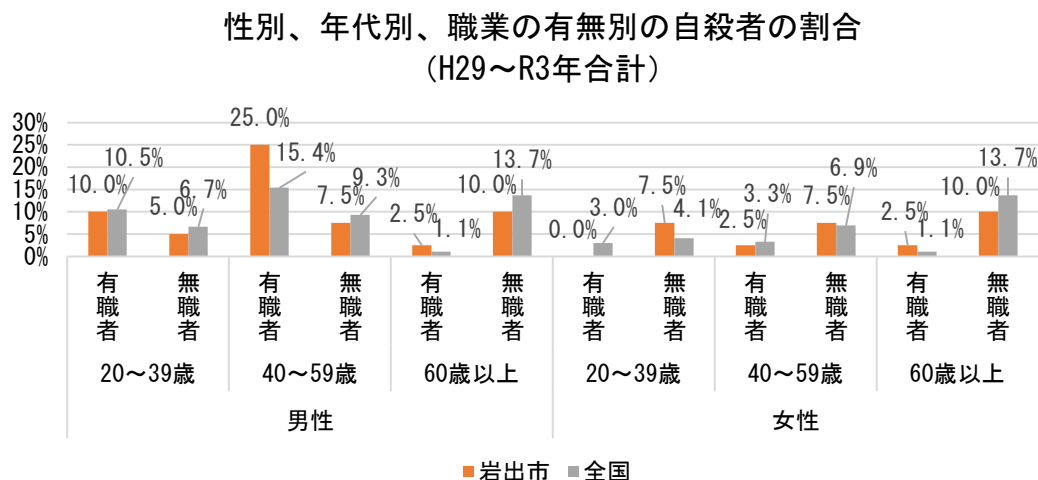


資料) 厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」

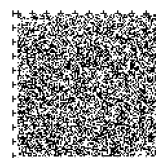
## 6. 性別、年代別、職業の有無別の自殺者の割合

性別、年代別、職業の有無別の自殺者の割合をみると、男性は40～59歳の有職者、女性は60歳以上の無職者が高くなっています。

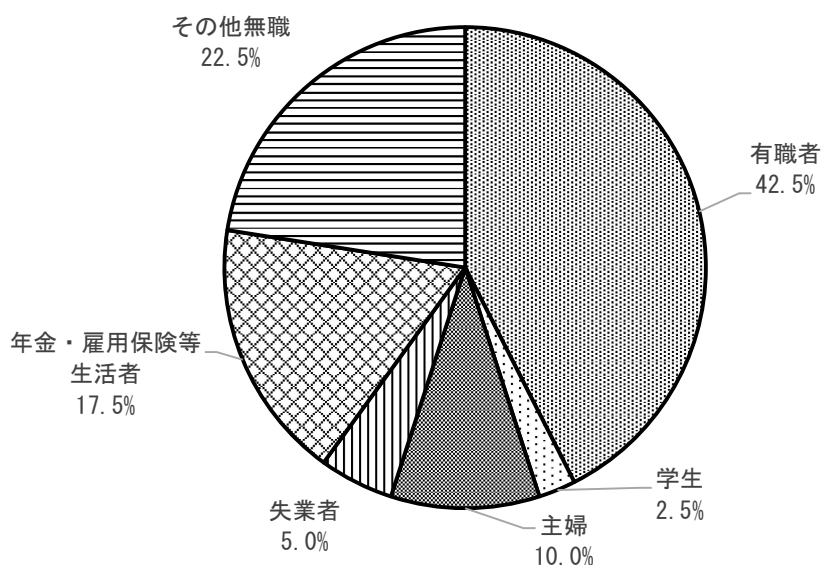
全国と比較すると、男性は40～59歳の有職者、60歳以上の有職者、女性は20～39歳の無職者、40～59歳の無職者、60歳以上の有職者で、本市が全国より高くなっています。



資料) 厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」



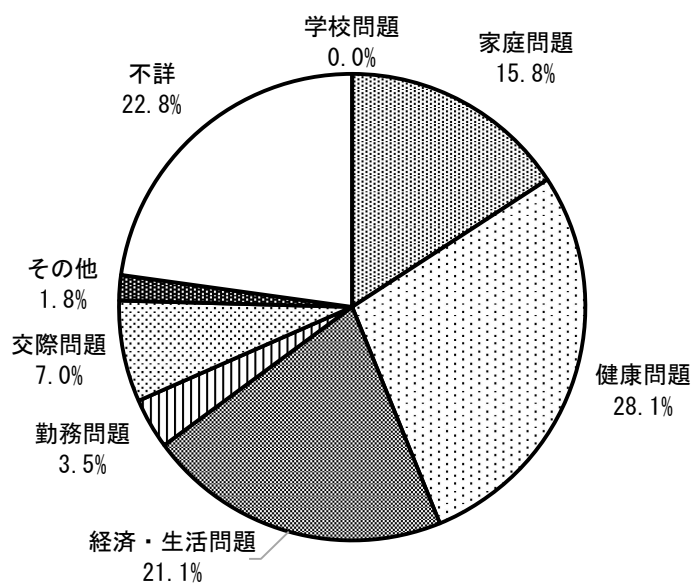
また、自殺の職業別についてみると、平成 29 年から令和 3 年においては、「有職者」が 42.5%で最も多く、次いで「年金・雇用保険等生活者」、「その他の無職者」となっており、「失業者」を含めた「無職者」は 57.5%となっています。



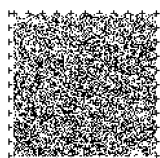
資料) 厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」

## 7. 原因・動機別自殺者数

自殺の原因・動機についてみると、平成 29 年から令和 3 年においては、「健康問題」が最も多く、次いで「経済・生活問題」、「家庭問題」となっています。ただし、自殺の多くは多様かつ複合的な原因及び背景を有しており、様々な要因が連鎖する中で起きているとされているため、一概に単一の原因・動機によるものではありません。



資料) 厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」



## 8. 岩出市における自殺の特徴

性別、年代別、同居の有無別、職業の有無別の自殺者数をみると、「男性 40～59 歳 有職同居」「男性 40～59 歳 無職同居」「男性 60 歳以上 無職同居」が多くなっています。

地域の主な自殺者の特徴（H29～R3 年合計）

| 上位5区分(順位) |                | 割合    | 自殺死亡率<br>(10 万対) | 背景にある主な自殺の危機経路 (注)                    |
|-----------|----------------|-------|------------------|---------------------------------------|
| 1位        | 男性 40～59 歳有職同居 | 17.5% | 22.9             | 配置転換→過労→職場の人間関係の悩み+仕事の失敗→うつ状態→自殺      |
| 2位        | 男性 40～59 歳無職同居 | 12.5% | 227.0            | 失業→生活苦→借金+家族間の不和→うつ状態→自殺              |
| 3位        | 男性 60 歳以上無職同居  | 12.5% | 30.3             | 失業(退職)→生活苦+介護の悩み(疲れ)+身体疾患→自殺          |
| 4位        | 男性 20～39 歳有職同居 | 10.0% | 21.3             | 職場の人間関係/仕事の悩み(ブラック企業)→パワハラ+過労→うつ状態→自殺 |
| 5位        | 女性 60 歳以上無職同居  | 10.0% | 15.0             | 身体疾患→病苦→うつ状態→自殺                       |

注) 和歌山県岩出市(住居地)の H29～R3 年の自殺者数は合計 40 人(男性 28 人、女性 12 人)であった。

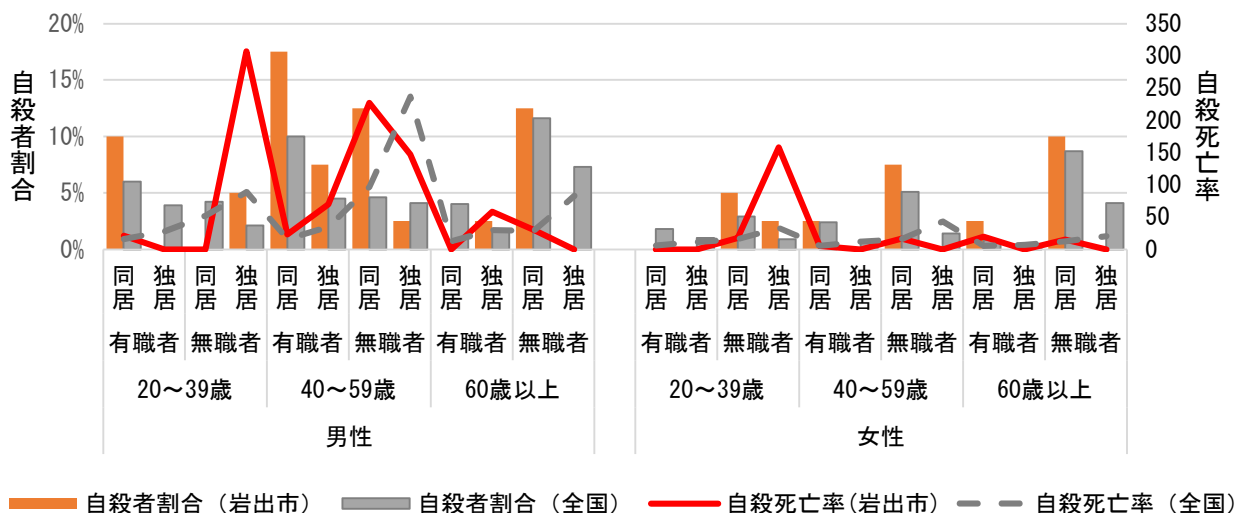
注) 順位は自殺者数の多さに基づき、自殺者数が同数の場合は自殺死亡率の高い順とした。

注) 自殺死亡率の母数(人口)は令和 2 年国勢調査を元に自殺総合対策推進センターにて推計した。

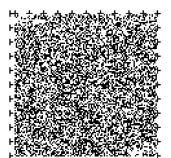
注)「背景にある主な自殺の危機経路」は自殺実態白書 2013(ライフリンク)を参考にした。自殺者の特性別に見て代表的と考えられる経路の一例を示しており、記載の経路が唯一のものではないことに留意いただきたい。

資料) 厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」、警察庁自殺統計原票データを厚生労働省(自殺対策推進室)にて特別集計

性別、年代別、職業の有無別、同居の有無別の自殺者の割合（H29～R3 年合計）



資料) 自殺総合対策推進センター「地域自殺実態プロフィール (2022)」



## 9. 第1期計画の取組と評価

第1期計画（平成31（2019）年度～令和5（2023）年度）の基本施策と重点施策における取組と評価については以下のとおりです。

### （1）基本施策

| 基本施策              | 指標                      | 1期目標           | 現状値           | 評価 |
|-------------------|-------------------------|----------------|---------------|----|
| 地域におけるネットワークの強化   | 自殺対策連絡協議会の開催            | 年1回            | 年1回以上         | 達成 |
| 自殺対策を支える人材の養成及び確保 | ゲートキーパー養成講座の開催          | 年50人           | 81人<br>(R5実績) | 達成 |
| 自殺予防のための啓発や教育の充実  | 市広報紙での自殺予防のための啓発        | 年2回            | 年2回           | 達成 |
|                   | 市民向け講演会の開催<br>(講座、映画など) | 年1回            | 年1回           | 達成 |
| 職場環境の整備・充実        | ハラスメントに関する情報提供          | 年1回            | 年1回           | 達成 |
| 精神保健医療サービスの体制の整備  | 節度ある適度な飲酒の知識を持つ人の割合     | 50%以上<br>(5年後) | 37.4%         | 未達 |
| 相談体制の充実           | 相談窓口リーフレットの配布           | 年5,000部        | 年4,000部       | 未達 |
| 自殺リスクの高い要因への取組    | ひきこもり者の居場所づくり           | 1か所            | 1か所           | 達成 |

### （2）重点施策

| 重点施策               | 指標                                 | 1期目標    | 現状値   | 評価 |
|--------------------|------------------------------------|---------|-------|----|
| 高齢者の自殺対策の推進        | 介護予防教室等の開催                         | 年200人   | 年795人 | 達成 |
|                    | 高齢者交流事業(ゆったりカフェ)の開催                | 年12回    | 年12回  | 達成 |
| 勤務者・経営者に関わる自殺対策の推進 | ハラスメントに関する情報提供【再掲】                 | 年1回     | 年1回   | 達成 |
| 生活困窮者に関わる自殺対策の推進   | 生活困窮者・無職者・失業者に関わる<br>相談窓口リーフレットの配布 | 年1,000部 | 50%達成 | 未達 |
| 無職者・失業者に関わる自殺対策の推進 |                                    |         |       |    |

